

製品名: Trk B (リン酸化 Tyr516) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05584**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 145kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | NTRK2 |
| 別名 | NTRK2; TRKB; BDNF/NT-3 growth factors receptor; GP145-TrkB; Trk-B; Neurotrophic tyrosine kinase receptor type 2; TrkB tyrosine kinase; Tropomyosin-related kinase B |
| 遺伝子 ID | 4915.0 |
| SwissProt ID | Q16620 |
| 免疫原 | 抗血清は、ヒト TrkB の Tyr515 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 481-530 |

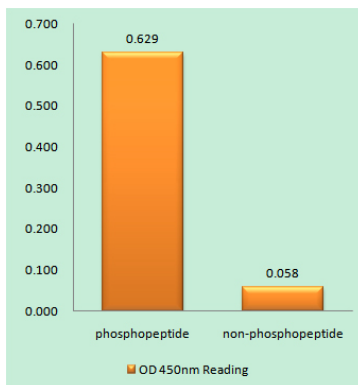
背景

この遺伝子は、神経栄養性チロシン受容体キナーゼ (NTRK) ファミリーのメンバーをコードしています。このキナーゼは膜結合型受容体であり、神経栄養因子が結合すると、自身および MAPK 経路のメンバーをリン酸化します。このキナーゼを介したシグナル伝達は細胞分化につながります。この遺伝子の変異は、肥満や気分障害と関連付けられています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 5 月], 代替産物: 追加のアイソフォームが存在するようです, 触媒活性: $ATP + a$ [タンパク質]-L-チロシン = $ADP + a$ [タンパク質]-L-チロシンリン酸, 機能: 脳由来神経栄養因子 (BDNF)、神経栄養因子 3、および神経栄養因子 4/5 の受容体ですが、神経成長因子 (NGF) の受容体ではありません。神経系の発達および/または維持に関与しています。これはチロシンタンパク質キナーゼ受容体です。TRK 受容体の既知の基質は、SHC1、PI-3 キナーゼ、および PLC- γ -1 です。、PTM: リガンドを介した自己リン酸化。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。インスリン受容体サブファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、類似性: 2つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、類似性: 2つの LRR (ロイシンリッチ) リピートを含みます。、サブユニット: 単量体 (低親和性) と二量体 (高親和性) 構造の間で動的平衡を保っています。SH2B2 に結合します。SQSTM1 および KIDINS220 と相互作用する。、組織特異性: アイソフォーム TrkB は、主に神経組織に広く発現している。中枢神経系では、大脳皮質、海馬、視床、脈絡叢、小脳顆粒層、脳幹、脊髄に発現が認められる。末梢神経系では、多くの頭蓋神経節、眼神経、前庭系、複数の顔面構造、顎下腺、および後根神経節に発現している。アイソフォーム TrkB-T1 は、主に脳、脾臓、腎臓、心臓など、複数の組織に発現している。アイソフォーム TrkB-T-Shc は、主に脳に発現している。、

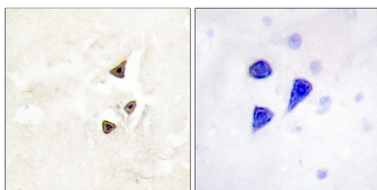
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;神経栄養因子;

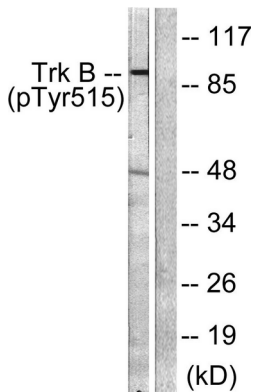
画像データ



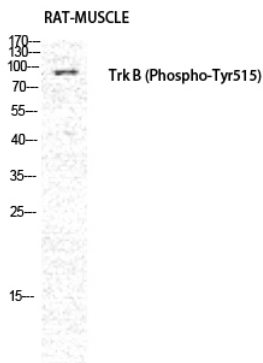
リン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) の免疫原に対する酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)、Trk B (リン酸化 Tyr515) 抗体使用



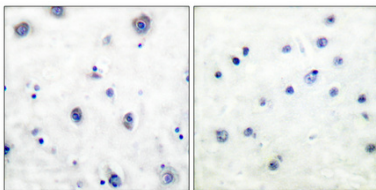
Trk B (リン酸化 Tyr515) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



NIH/3T3 細胞ライセートの Trk B (リン酸化 Tyr515) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の Phospho-Trk B (Y516) ポリクローナル抗体を用いたラット筋細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。